

学会だより

集会の案内

◇ **不二たん白質研究振興財団 公開講演会
「大豆のはたらき in 徳島——食を通して健
やかな人生を——」**

1. 日時：平成 22 年 10 月 1 日（金）
2. 場所：ホテルクレメント徳島

◇ **日本原子力研究開発機構 高崎量子応用研究
所 第 5 回高崎量子応用研究シンポジウム**

1. 日時：平成 22 年 10 月 14 日（木）午前 10 時～15 日（金）午後 5 時 30 分
2. 場所：高崎シティギャラリー コアホール（群馬県高崎市高松町 35-1）
3. プログラム：http://www.nacos.com/jsb/02/02PDF/5rh_takasaki_symposium.pdf
4. 申し込み：第 5 回高崎量子応用研究シンポジウム実行委員会事務局 FAX: 027-346-9600 又は E-mail: takasaki-shisetsubu@jaea.go.jp にて

◇ **基礎生物学研究所研究会・アサガオ研究集会**

アサガオに関する幅広い分野の先端研究を発表いただくと同時に、さまざまな角度からアサガオの実験植物としての価値を高めていくこと、研究者の交流とコミュニティの拡大を目的として、本研究集会の開催を計画いたしました。アサガオが属するヒルガオ科や、近縁のナス科植物の研究者との連携促進も目的として開催したいと考えております。ぜひご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

1. 日時：2010 年 11 月 13 日（土）13:00～14 日（日）12:00（終了時間は予定です、演題数で前後します）
2. 場所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター（<http://www.orion.ac.jp/occ/>）
3. 参加費：無料、交流会は予約制で有料（3500 円程度を予定）
4. 主催：アサガオ研究集会世話人会
5. 世話人代表：名古屋大学大学院情報科学研究科 吉田久美
TEL/FAX: 052-789-5638 yoshidak@is.nagoya-u.ac.jp
6. 連絡先：基礎生物学研究所 星野敦
TEL/FAX: 0564-55-7534 hoshino@nibb.ac.jp

研究助成公募の案内

◇ **（財）日本科学協会 平成 23 年度笹川科学
研究助成募集**

（財）日本科学協会では、若手研究者への研究奨励として「平成 23 年度笹川科学研究助成」を募集いたします。詳細は、日本科学協会のホームページをご覧ください。募集期間は平成 22 年 10 月 1 日から 15 日までです。募集要項・申請書はこちらより：

<http://www.jss.or.jp/sasagawa/apply/apply.html>

問い合わせ先：財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F
TEL: 03-6229-5365 FAX: 03-6229-5369

E-mail: ssrg-jss@silver.ocn.ne.jp URL: <http://www.jss.or.jp>

◇ **科学技術振興機構（JST）「戦略的国際科学
技術協力推進事業」による EU との「環境」
分野に関する研究課題の公募**

独立行政法人 科学技術振興機構（JST）では、研究者の国際的な交流を推進する「戦略的国際科学技術協力推進事業」を実施しております。本事業では、EU と「環境」分野に関する研究交流の支援を行うこととし、課題を募集いたします。募集要項・申請書はこちらより：

http://www.jst.go.jp/sicp/announce_eu3rd.html

問い合わせ先：独立行政法人 科学技術振興機構 国際科学技術部 事業実施担当 石橋、波羅（はら）

TEL: 03-5214-7375 FAX: 03-5214-7379

E-mail: sicpeu@jst.go.jp

談話会だより

◇ **北海道地区**

【第 258 回日本育種学会・第 241 回日本作物学会 北海道談話会例会】

日時：2010 年 5 月 28 日（金）13:00～16:00

場所：北海道大学農学部総合研究棟多目的室

講演者・タイトル：

1) Rajeev Varshney, ICRISAT, India

Advances in semi-arid tropics legume genomics

2) M.S. Sheshshayee, University of Agricultural Sciences, India

Drought tolerance traits and their relevance in crop improvement

3) L. Krishnamurthy, ICRISAT, India

Is there enough genetic diversity for drought tolerance traits for better breeding progress?

4) Hari Upadhyaya, ICRISAT, India

The extent of useful variation in the reference collection of chickpea germplasm

5) P.M. Gaur, ICRISAT, India

Current status of breeding for drought tolerance in chickpea

【第 259 回日本育種学会・第 242 回日本作物学会 北海道 談話会例会】

日時：2010 年 7 月 27 日（火）13:30～16:00

場所：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター管理棟 1 階講義室

講演者・タイトル：

1) Malay C. Saha, The Samuel Roberts Noble Foundation, USA

Developing resources for molecular breeding of switchgrass, a potential bioenergy crop

2) J. Ryan Stewart, University of Illinois at Urbana-Champaign, USA

What mother nature has taught us about developing *Miscanthus* as a bioenergy crop: the ecology of *Miscanthus* in its native range in Japan

金澤章（北海道大学大学院農学研究院）

水産技術総合センター, 2. 現・明治製菓) ⑥水稲品種「秋の詩」に対する穂いもち抵抗性遺伝子 *Pb1* と連鎖する分子マーカーの反応性. ○日野耕作・片山寿人・川村容子・北村治滋（滋賀県農業技術振興センター）⑦イネトランスポゾン mPing による転写単位の創造. ○築山拓司・安田加奈子・稲垣晴香・寺石政義・奥本裕（京大院農）⑧被覆資材の違いが水稲湛水直播用種子の発芽, 初期生育に及ぼす影響. ○牛尾昭浩・須藤健一（兵庫県立農林水産技術総合センター）⑨ゴマ (*Sesamum indicum* L.) とその祖先野生種 *S. mulayanum* Nair の発芽特性. ○種塚英次¹・梅田絵衣子¹・梶原文¹・山田恭司²・山本将之²・増田恭次郎²・吉田元信¹ (1. 近畿大学農学部, 2. 富山大学大学院理学研究科) ⑩オオカナダモ (*Egeria densa*) の生育に及ぼす環境要因の影響. ○本永美香・高柳周・清水顕史・長谷川博（滋賀県立大学大学院環境科学研究科）⑪タバコ属種間雑種の雑種致死. ○三野眞布・疋村幸子（京都府立大学大学院生命環境科学研究科）⑫窒素・硫黄代謝制御による種子貯蔵タンパク質組成の変化. ○田中朋之¹・中嶋祐道²・山口武祝²・中野淳一² (1. 京都大学農学研究科, 2. 鳥取大学農学部).

那須田周平（京都大学大学院農学研究科）

◇ 近畿地区

近畿作物・育種研究会

近畿作物・育種研究会第 169 回例会が、2010 年 6 月 26 日（土）に京都府立大学農学部において開催されました。例会では、谷坂隆俊氏（京都大学名誉教授）による特別講演「イネにおける重要形質の遺伝」に加え、以下の 12 題の一般講演がありました。約 60 名の参加者が活発な議論を交わしました。また、総会では、平成 22 年～23 年度の執行体制（会長・白岩立彦氏・京都大学）が承認されました。次会例会（第 170 回）は平成 22 年 12 月 4 日に大阪府立大学で開催予定です。

一般講演：①水稲「きぬむすめ」の分施肥系と緩効性肥料系における施肥法。○松本純一・小河拓也・岩井正志（兵庫県立農林水産技術総合センター）②簡易土壌水分計を用いた黒大豆安定生産のための水ストレスの把握と灌水時期判断技術。○須藤健一¹・河村久紀²・蘆田哲也³・尾崎耕二³・土井正彦⁴・白岩立彦⁵・本間香貴⁵・田中朋之⁵・黒瀬義孝⁶・竹田博之⁶・K.K. Mishra⁷・馬河紘子⁷ (1. 兵庫農技センター, 2. 滋賀農技振センター, 3. 京都農技センター, 4. 奈良農総センター, 5. 京都大学, 6. 近中四農研, 7. パスコ) ③滋賀県における「環境こだわり」栽培水稲の収量, 乾物生産, 窒素収支について。川島長治・小川敦史（秋田県立大学生物生産科学部）④兵庫県篠山市城南地区の里山はなぜ生物多様性が高いか？○伊藤一幸・近藤史・横山圭（神戸大・院農）⑤兵庫県の主要ダイズ茎疫病菌レースに対する黄ダイズの反応。○杉本琢真¹・吉田晋弥¹・入江和己² (1. 兵庫県立農林

日本育種学会会員異動(2010.4.21～2010.7.20)

◇普通会員入会：船引厚志（北海道）、王艶平（青森）、牛久由夏（岩手）、川邊隆大（宮城）、小玉郁子（秋田）、齋藤裕太郎、花田俊男（山形）、内山憲太郎、谷口亨、THEOPHILE ODJO、濱田茂樹、宮本尚子（茨城）、望月篤（千葉）、山岡尚平（東京）、長岡一朗（新潟）、三浦孝太郎（福井）、斉藤雄飛、田中義行、丸山伸之（京都）、西美友紀（佐賀）

◇学生会員入会：小川昂志、笠原朋、平季幸、建部えり子、早瀬健彦、樋山肇（北海道）、西村さつき（青森）、大坂正明、村田隼人（宮城）、浅井裕貴、高橋明、森美果子（秋田）、内田晋作、木村薫、鈴木隆由輝（山形）、遠藤（東）直邦、我那覇あんり（茨城）、小林政文（栃木）、新藤春香、PHLAETITA WASANA、藤井大輔（千葉）、石橋侑子、岩井徹、大嶺彩、NGUYENQUOC TRUNG、趙成日、陳美花、林嘉禾、松原千枝、三村真生、山口智弘（東京）、石井亜希穂、宇佐見純平、中村真子、吉富麻衣子（神奈川）、田中みずき、古川沙月（新潟）、磯辺美里（石川）、加藤啓介、加藤晴菜、河出彩乃、香野みずき（福井）、片山敬仁（滋賀）、加藤直樹、角谷磨美、辻村朋彦、堤厚善、森奈々子、安田加奈子（京都）、川島信晴（大阪）、IEHISA MASARU、香山佳代子、中野裕樹（兵庫）、佐野新悟（岡山）、服崎佑亮、東沙樹（宮崎）

◇外国会員入会：HA IN-SOO（大韓民国）

住所変更等

◇普通会員：浅野賢治、石黒浩二、品田裕二、保坂和良、

山口淳二（北海道），長谷川一（青森），浅野敬幸，石本政男，小原実広，川勝恭子，田中淳一，林武司（茨城），大岡久子，小薬清美，霍田真一（栃木），工藤暢宏（群馬），笠島一郎，宮城敦子（埼玉），小原麻里（千葉），安東郁男，山本昭夫（東京），山口裕文（神奈川），吉田均（新潟），海内裕和，丸田一成（長野），中園幹生（愛知），山本有子（三重），三村裕（京都），原田久也（兵庫），山

本達也（奈良），杉田（小西）左江子，根角博久（香川），下村克己（福岡），中村典義（佐賀），大内田真（鹿児島），出花幸之介（沖縄）

逝去

飯塚宗夫（神奈川），松尾孝嶺（東京）
慎んでご冥福をお祈りいたします。